

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<7週> インフルエンザ 定点当たり報告数が急激に減少 / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ流行状況> 2000年第7週(2月14日 ~ 2月20日)
現在、全国定点医療機関からの報告患者総数は62,932件で、定点当たり13.9と、先週より更に減少した



病原体情報
P.5

インフルエンザ A/ソ連型ウイルス(H1N1)分離報告は1115と、A/香港型ウイルス(H3N2)に対し分離が多くなっている / 感染性胃腸炎 SRSVIは合計77件の検出報告



IASRからの速報
P.6-8

東京都内で発生した髄膜炎菌性髄膜炎・敗血症等について / 仕出し弁当による腸管毒素原性大腸菌O153食中毒集団発生事例 - 長崎市



海外感染症情報
P.9

デンマークでのサルモネラ菌血症による死亡事例 / 黄熱輸入例 - スリナムからオランダへ / フランスでリステリア症流行



感染症の話
P.10-12

先天性風疹症候群
妊娠初期に風疹に感染した妊婦からの出生児に発症する可能性が高く、症状は先天性心疾患、難聴、白内障など



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(7週)
P.14-20



7週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第7週コメント 2月24日集計分

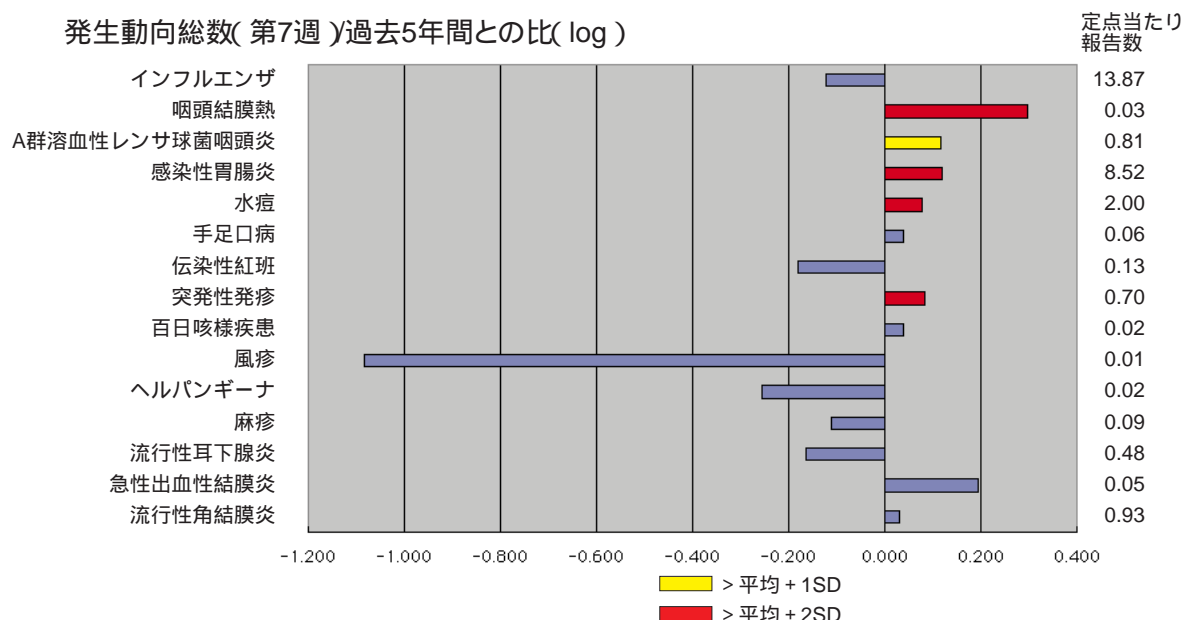
全数報告の感染症

- 1類感染症の報告はない。
- 2類感染症: コレラ2例(推定感染地: アフリカ1例、アフリカまたはマダガスカル1例)
細菌性赤痢12例(推定感染地: 国内感染5例、タイ3例、インド2例、インドネシア1例、フィリピン1例)
腸チフス2例(推定感染地: 国内1例、ミャンマー1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症は14例報告されている。
- 4類感染症: アメーバ赤痢9例
急性ウイルス性肝炎10例 A型4例_国内感染3例、国内またはフィリピン1例
B型6例_ 性行為感染1例、不明5例
CJD孤発型2例、後天性免疫不全症候群5例、ジアルジア症1例、髄膜炎菌性髄膜炎2例、ツツガムシ病2例、梅毒6例、破傷風2例
マラリア2例 熱帯熱マラリア1例(推定感染地: パプアニューギニア)
不明1例(感染地不明)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザは定点当たり報告数が急速に減少している。今シーズンの流行曲線はピークが昨シーズンをやや上回ったが、流行期の幅は昨シーズンより短くなりそうである(インフルエンザ流行についての詳細な解説と分離ウイルスについては4ページインフルエンザ流行情報参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が例年の同時期より多い。水痘は九州地方と沖縄県、石川県で定点当たり報告数が多くなっている。麻疹は大阪府下で患者が急増しており、隣県の兵庫でも患者数は増加傾向にある。また、千葉県でも麻疹は今年始めから例年より多くの患者報告があり、千葉衛研疫学研究室では週報上で注意を呼びかけていたが、今週も報告数が多くなっている。そのほか香川県、茨城県、福島県でもまとまった数の患者報告数がある。非流行期の咽頭結膜熱の定点当たり報告数も例年より多くなっている。

発生動向総数(第7週)過去5年間との比(log)

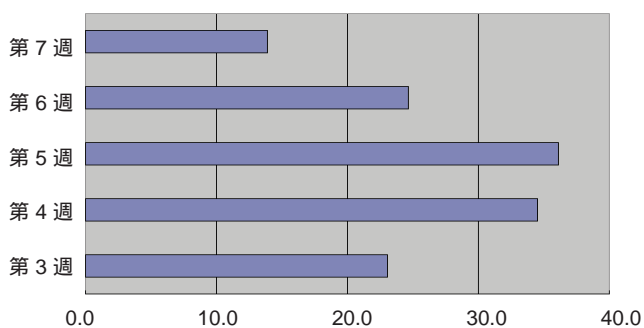


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

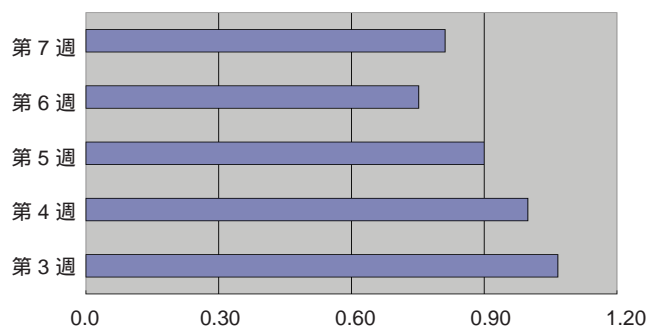
最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザは、前週の定点当たり報告数が24.6、今週は13.9となっており、前週より大きく減少している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘はここしばらく定点当たり報告数が減少傾向にあったが、いずれの疾患も今週の定点当たり報告数は前週を上回った。麻疹患者の定点当たり報告数は2週続けて前週を上回り、大阪府、香川県、千葉県、福島県、茨城県などからまとまった数の患者報告があった。麻疹は例年春にかけ流行曲線が上昇するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。

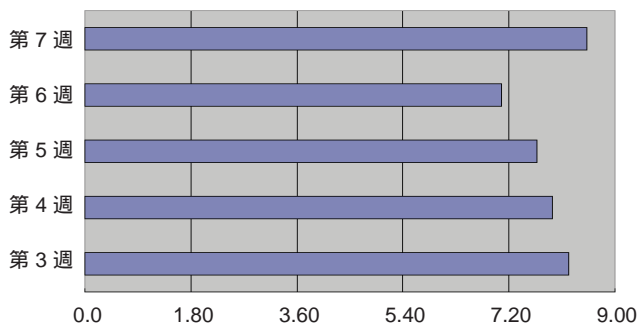
インフルエンザ



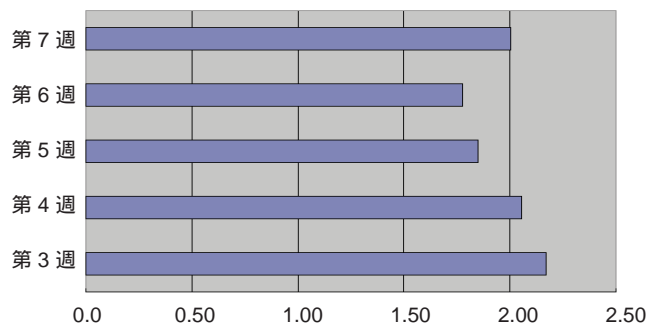
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



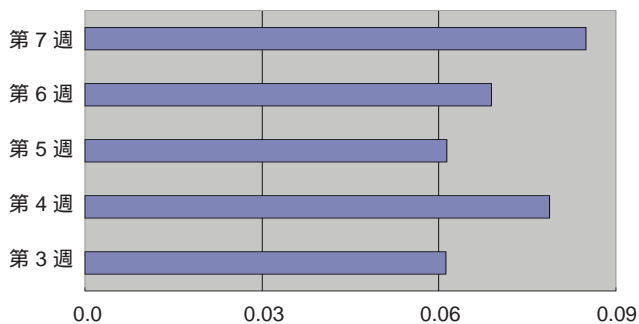
感染性胃腸炎



水痘



麻疹



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



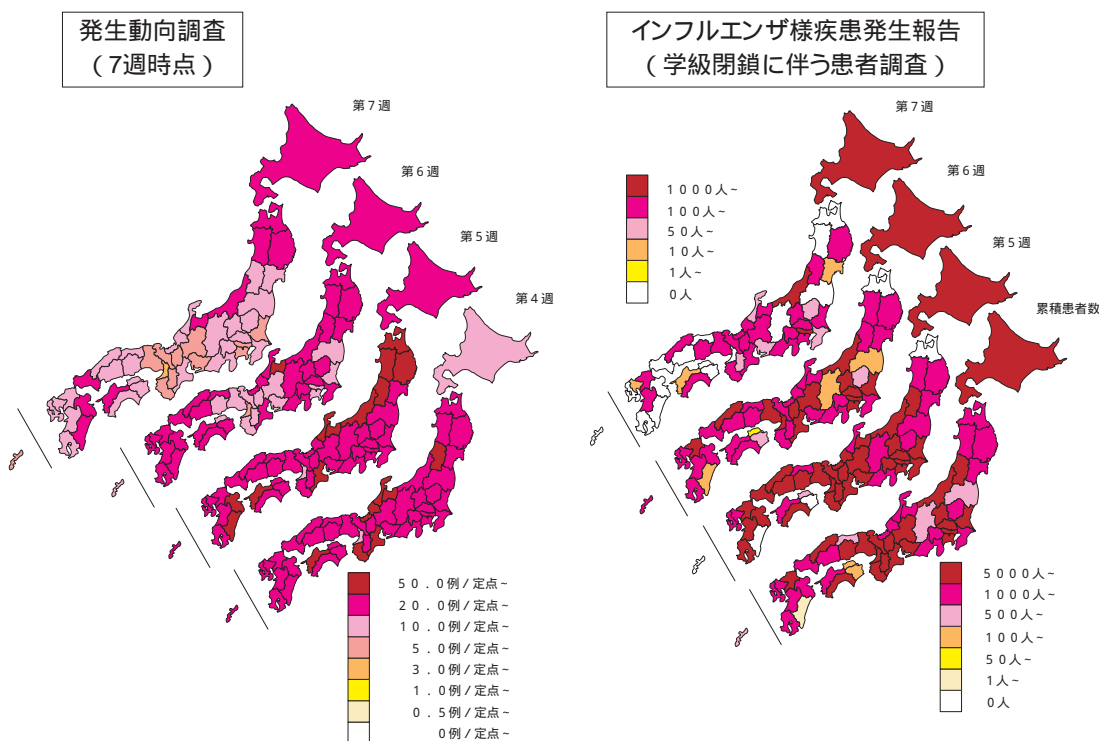
注目すべき感染症

インフルエンザ流行状況

2000年第7週(2月14日 ~ 2月20日)現在、全国定点医療機関からの報告患者総数は62,932件で、定点当たり13.9と、先週より更に減少した。都道府県別でも、以下の地図グラフで見られるように、定点当たり10以下に減少したところが多くみられる。ウイルスの型は、依然A/ソ連型とA/香港型が混合して分離されており、現在までのところB型が増加してくる傾向は見られない。

インフルエンザ様疾患発生報告(第14報、平成12年2月13日 ~ 2月19日)によると、この週の学校での患者数は28,122名、欠席者数は12,947名と前週より更に減少し、昨年同時期(患者数135,929名、欠席者数65,338名)と比較しても1/5以下となっている。総患者数は平成11年11月7日からの累計で459,215人(昨年同期549,148人)、総欠席者数は累計で238,308人(昨年同期265,910人)となっており、現時点で、昨シーズンより低い報告数となっている。

今シーズンからインフルエンザ疾患関連の死亡者数の迅速把握が開始され、平成12年2月24日までに厚生省に報告されている件数は、平成11年12月以降、累計152名である。年齢別内訳は、0歳以下0件、1 ~ 4歳11件、5 ~ 9歳4件、10 ~ 19歳2件、20 ~ 39歳7件、40 ~ 59歳13件、60 ~ 79歳41件、80歳以上74件で、60歳以上が73%を占めている。

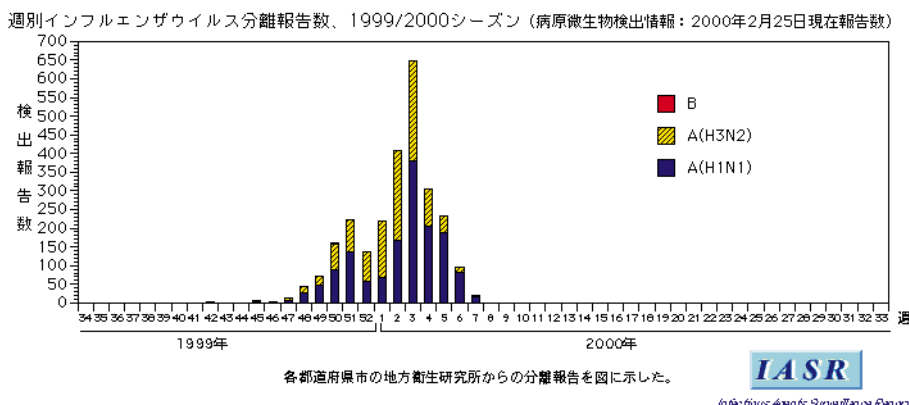




病原体情報

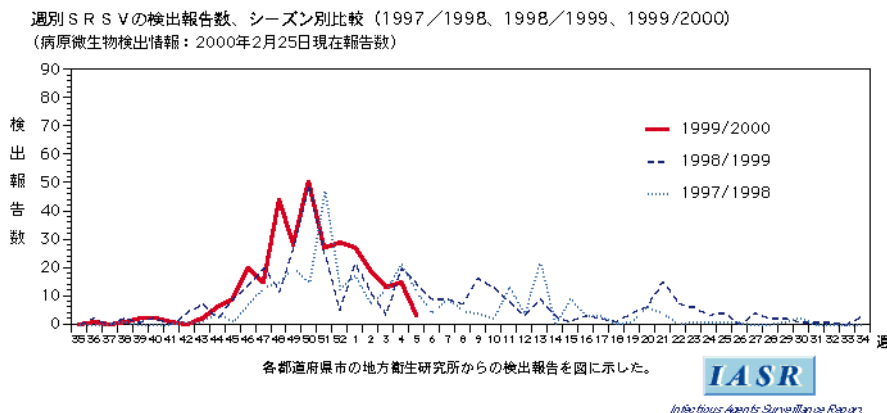
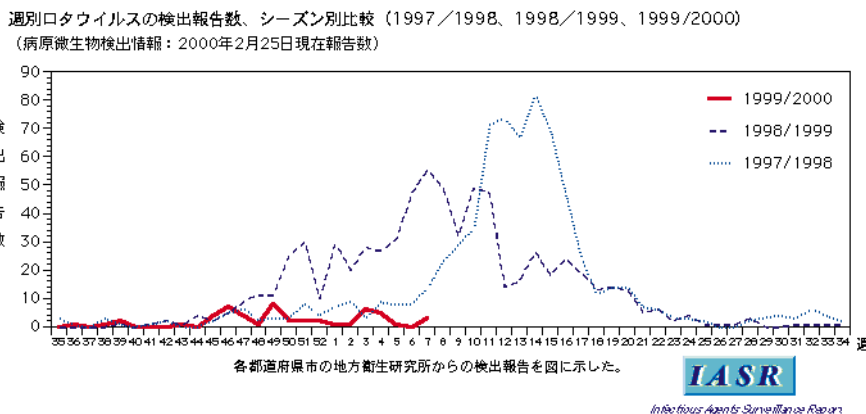
インフルエンザ

2000年2月25日までに病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、2000年1月1日以降に分離されたA/香港型ウイルス(H3N2)は817、A/ソ連型ウイルス(H1N1)は1115とソ連型の分離が多くなっている。今シーズンのB型分離については、2月14日が現在のところ最終集計日で2件の分離が報告されている。



感染性胃腸炎

2000年に入り新潟県、岩手県、栃木県、滋賀県、山梨県などから合計77件のSRSVの検出報告がある。ロタウイルスの検出報告は今シーズンは低めに推移しており、2000年に入って大阪府から5件、新潟県から4件、岩手県から3件、滋賀県、奈良県、大分県から1件ずつの検出報告があった。



東京都内で発生した髄膜炎菌性髄膜炎・敗血症等について

1998年4月～1999年10月までに、東京都内で14名の髄膜炎菌が原因菌と考えられる患者発生があった。髄膜炎は1998年に4人、1999年に5人の患者発生があり、そのほか敗血症患者2名・肺炎患者1名・上気道炎患者1名・尿道炎患者1名の計5名の髄膜炎以外の患者発生が報告されている。

届け出のあった髄膜炎患者の年齢は1歳未満1名、10～19歳2名、20～29歳2名、40歳以上4名であった。髄膜炎菌性髄膜炎は一般的には通常は15歳以下で乳児が多いと言われているが、報告のあった患者には、50～60歳代の高年齢者もみられた。

髄膜炎菌はその莢膜の抗原性により13の血清型(A、B、C、D、H、I、K、L、X、Y、Z、W135、29E)に分類される。髄膜炎患者8名の血清型はB群、他はUT(型別不能)であった。敗血症由来の血清型はC群とW135群、肺炎由来の血清型はW135群、上気道炎由来の菌型はB群、尿道炎由来はUTであった。患者家族の検査では、1歳未満の髄膜炎患者の父親は同じB群を保菌しており、30歳代の肺炎患者の子供はW135群を保菌していた。また他の患者(髄膜炎・敗血症等)の関係者検査では、患者5名の関係者合計71名について咽頭ぬぐい液の検査を行ったが、全員陰性であった。

現在、日本での髄膜炎菌性髄膜炎の報告は稀であるが、海外での患者発生報告は多い。流行菌型はアフリカやアジアの一部(ベトナム・ネパール・モンゴル)ではA群であるが、1995年7～8月のアメリカでの集団感染(480人)、1997年のフロリダでの集団感染(養護施設)、そして1996～1998年に流行した(約1,300人/3年)ニュージーランドの菌型はB群であった。1997～1998にかけて流行(約600人)したイギリスの菌型はB群とC群であった。1999年12月～2000年1月にかけてハンガリーでも髄膜炎の流行(約30人)が報告されている。日本では幸いすべて散発事例であり、患者関係者検査でも2家族に保菌者がいたものの、両家族とも無症状であった。しかしこれまでは数年に1～2名の患者発生であったものが、1998年以降、約1年半で14名と増加傾向が認められており、今後とも本症を監視していく必要がある。

東京都立衛生研究所微生物部細菌第二研究科

遠藤美代子 奥野ルミ 下島優香子 村田以和夫 関根大正 小久保彌太郎

(病原微生物検出情報3月号-*IASR* vol.21 No.3, 2000-掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

仕出し弁当による腸管毒素原性大腸菌O153食中毒集団発生事例 - 長崎市

1. 概要

1999(平成11)年11月2日、長崎市内の医院から腹痛・下痢等の食中毒症状を呈した患者数名が相次いで来院し、治療を受けている旨の連絡があった。患者はすべて10月31日に開催されたPTA連合会体育大会に参加し、昼食の仕出し弁当を食べていることが判明。市内の飲食店で調製され、2つの学校に納入した弁当144個のうち129個がそこで喫食され、関係者およびその家族37名が発症していたことも分かった。

当試験所には、患者検便・弁当を調製した飲食店従業員の検便・ふきとり・弁当食材残品について食中毒検査の依頼があり、同日夜間に検体が搬入された。また、翌日廃棄する予定であった弁当ポリ容器も発見され、「異味異臭を呈していた」との声が多かったポテトサラダ等の食べ残しをふきとるなどして回収し検査を実施した。この日の患者数は59名であった。

長崎市保健所は、喫食調査に基づき行った弁当の食品別カイニ乗(2)検定で、ポテトサラダを原因食品と推定した。

11月4日、患者数は75名となった。飲食店には2日間の営業停止処分を実施。

11月5日、患者数は80名となった。患者検便で、58検体中28検体から病原性大腸菌O153を検出した。ペロ毒素はVT1・VT2ともに陰性であった。

11月8日、患者数は87名となった。O153が検出された患者便のうち8検体についてPCR法とEIA法による耐熱性エンテロトキシン(ST)および易熱性エンテロトキシン(LT)の検査を実施し、すべてにSTを検出した。

11月10日、保存していたポテトサラダ等の食品を、L-broth培地で培養し、培養液から調製した熱抽出サンプルを使用してPCRを行った結果、ポテトサラダよりSTを検出した。

11月12日、ポテトサラダを培養したBTB寒天培地のコロニーから病原性大腸菌O153を検出。これにより長崎市保健所は、食中毒の病因物質をポテトサラダと確定した。

最終的に、検便121検体、食品その他27検体の検査を当試験所で実施し、そのうち52名でO153を検出するとともに、43名でSTを検出した。

2 .検査について

- (1) SMACおよびBTB寒天培地を使用して分離培養を行い、確認培地としては、TSIおよびLIM培地を使用した。同定キット「アピ20E」を使用して生化学性状検査を行ったところ、結果は、E.coliと同定された。
- (2) デンカ生研の病原大腸菌免疫血清を用いてスライド凝集法によりO群型別試験を行った。多価血清では混合5、因子血清ではO153に凝集がみられた。
- (3) H抗原は、H12であった。
- (4) 毒素については、まずベロ毒素をPCRにより実施した。結果はVT1・VT2ともに陰性であった。このため、STとLTについてPCRを行い、STを検出した。PCRで陽性のものはEIA法により確認した。

3 .疫学調査について

今回の事件の喫食者総数は153名、患者数は92名(死亡者0)、発病率60%、潜伏時間は平均40.1時間、症状についてみると、腹痛88%、下痢(水様便)82%、下痢回数(一日平均) 5.3回、嘔気47%、嘔吐15%、頭痛36%、発熱34%となっている。また、病原大腸菌は、発病率が高いと言われているが、本事件において、ポテトサラダを舐めたり、11カ月齢の幼児にサラダをつまんだ後の箸でご飯を食べさせた程度の喫食状況でも発症していることから、サラダ全体の高濃度汚染が疑われた。

汚染経路の追究として、原因食品と推定したポテトサラダを含めた弁当の原材料、調理施設および器具類のふきとりにより、原因菌の検索を行った結果、いずれからともO153は分離できなかった。また、施設への給水は市の上水道が使用されていた。ただ(1)原材料の加熱不足による菌の残存、(2)調製の際の器具または手指からの汚染、(3)放冷時の高い室温下での放置、(4)サラダの盛りつけ後すぐ横に高温の米飯を盛りつけたこと等の調理状況から、急速な菌の増殖が起こり集団感染事件に発展したのではないかと推察される。

長崎市保健環境試験所 細菌血清検査係

(病原微生物検出情報3月号-IASR vol.21 No.3, 2000-掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

[WHO/WER 2000; 75\(7\), 54](#)

デンマークでのサルモネラ菌血症による死亡事例

2000年1月初旬に、デンマーク、ベール地区において、一家族内の2例が同時にサルモネラ感染症を発症し、死亡した。2症例とも重篤な下痢、腹痛、発熱を呈し、呼吸困難・心不全におちいり、発症後3～4日で死亡した。剖検の結果、血液、心筋、髄液などから *Salmonella* Enteritidis phage type(FT)6が分離された。この *S. Enteritidis* FT6は同様の症状を呈した家族一名からも分離された。調査の結果、近隣で飼育されていた *S. Enteritidis* FT6に汚染された鶏卵を使用したケーキを喫食し、菌血症を起こして死亡したものと考えられる。一般に、*S. Enteritidis*による胃腸炎は大部分が自然治癒し、重篤化して菌血症などを起こすことは稀である。また、*S. Enteritidis*による菌血症の致死率は25%以下であると報告されている。この事例は、*S. Enteritidis* FT6の摂取菌量が非常に多かったと考えられ、そのため、急激に重篤化し死亡にいたったものと考えられた。

[WHO/EMC 2月25日](#)

黄熱輸入例 - スリナムからオランダへ

オランダでの輸入黄熱症例。オランダ保健当局は、黄熱ワクチン未接種の32歳男性がスリナムに4週間滞在し帰国後、黄熱を発症したことを発表した。患者は1月9日に帰国し、1月12日に発病した。患者はハーグの病院に入院したが、回復し退院した。黄熱は2月16日に血清学検査で診断された。

注 ProMED情報によるとこの患者は黄熱ウイルスに対するIgG, IgM抗体が検出されたが、デング熱ウイルスに対するIgG, IgM抗体も同時に確認されており、デング熱ウイルスとの交叉反応の可能性もある。



[ProMED 情報2月20-25日](#)

フランスでリステリア症流行

フランス国内で新たに3例のリステリア症患者が確認された。2月25日保健省は国立リステリアセンターで2人の老人、1人の乳児がリステリア症に罹患したことを発表した。今回の3例も汚染されたブタの舌(ゼリーに入っている)を喫食したのが原因であるらしいと述べている。1999年11月の流行開始以来フランスでは、患者数は26人報告され、7人が死亡している。



感染症の話

先天性風疹症候群

免疫の無い女性が妊娠初期に風疹に罹患すると、風疹ウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風疹症候群(CRS)と総称される障害を引き起こす事が有る。風疹のサーベイランスやワクチン接種の目的は、この先天性風疹症候群の予防を第一に考えられている。風疹については感染症週報1999年19週(1巻6号)に既出である。

我が国におけるCRSの疫学

風疹の流行年とCRSの発生の多い年度は完全に一致している。また、この流行年に一致して、かつては風疹感染を危惧した人工流産例も多く見られた(図1)。風疹は主に春に流行し、従って妊娠中に感染した胎児のほとんどは秋から冬に出生している。流行期における年毎の10万出生当たりのCRSの発生頻度は米国0.9-1.6、英国6.4-14.4、日本1.8-7.7であり、国による差は殆ど見られない。母親が顕性感染した妊娠月別のCRSの発生頻度は、妊娠1ヶ月50%以上、2ヶ月35%、3ヶ月18%、4ヶ月8%程度である。成人でも15%程度不顕性感染があるので、母親が無症状であってもCRSは発生し得る。1993年を最後に全国規模の風疹流行は無くなったので、それに対応して、CRSの発生数も減少している。

病原体

CRSの病原体は風疹ウイルスである(図2)。ウイルス株によって病原性に差は認められていない。発生段階の初期(特に3ヶ月以内)に胎児内で、ある量以上のウイルス増殖があればCRSを引き起すと考えられている。

臨床症状

CRSの三大症状は、先天性心疾患、難聴、白内障(図3)である。この内、先天性心疾患と白内障は妊娠初期3ヶ月以内の母親の感染で発生するが、難聴は初期3ヶ月のみならず、次の3ヶ月の感染でも出現する。そして、高度難聴であることが多い。三大症状以外には、網膜症、肝脾腫、血小板減少、

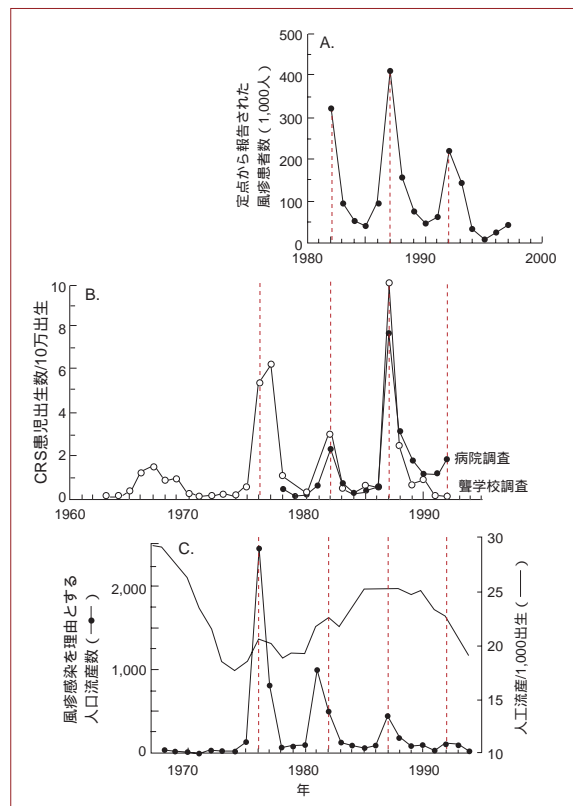


図1 日本における風疹と先天性風疹症候群(CRS)の疫学(加藤茂孝, ほか:平成8年度伝染病流行予測調査報告書1998; pp81-101)

A, B, Cとも横軸の年号の位置を合わせてある。

A: 定点(約2,400)から報告された風疹患者発生数, B: 病院調査(923院)と聾学校調査(107校)によるCRSの発生数, C: 風疹感染を理由とする人口流産数(死産証書)と人口流産率(厚生省人口動態統計)

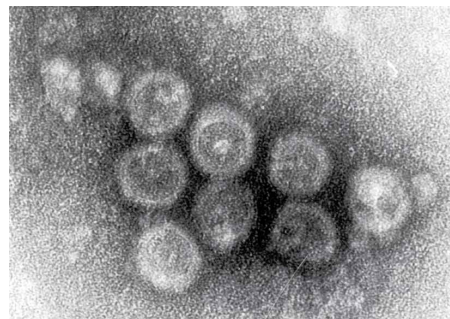


図2 風疹ウイルスの電子顕微鏡写真(加藤茂孝)

糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など多岐に亘る。

病原診断

病原体である風疹ウイルスの検出は、ウイルス分離よりもウイルス遺伝子の検出が感度も良く、また、時間的にも遥かに短期間で出来る。それは、ウイルス遺伝子RNAを逆転写PCRで増幅して検出する方法である(図4)。CRS患児からは出生後6ヶ月位迄は、高頻度にウイルス遺伝子が検出できる。検体としては、検出率の高い順から述べると、白内障手術により摘出された水晶体、脳脊髄液、咽頭拭い液、末梢血、尿等が用いられる。



図3 CRS白内障(杏林大学医学部 藤原隆明博士提供)

CRSの診断としては、症状、ウイルス遺伝子検出以外に、臍帯血や患児血からの風疹IgM抗体の検出が確定診断として使用できる。IgM抗体は胎盤通過をしないので、もし存在すればそれは胎児が感染の結果産生したものであり、発症の有無にかかわらず胎内感染の証拠となる。

胎児が感染したか否かは胎盤絨毛、臍帯血や羊水等の胎児由来組織中の風疹ウイルス遺伝子の検出で診断できる。母親が発疹を出しても、胎児まで感染が及ぶのは、約1/3であり、またその感染胎児の約1/3がCRSとなる(図5)。

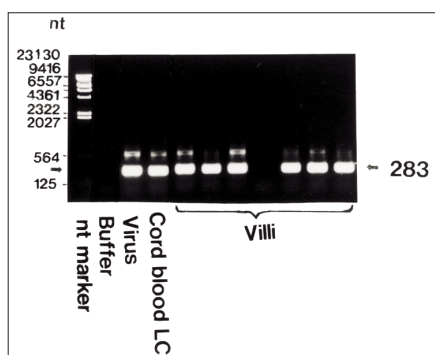


図4 風疹ウイルス遺伝子の検出 E1遺伝子の一部を逆転写PCRで増幅。283塩基のDNA断片として検出(加藤茂孝)

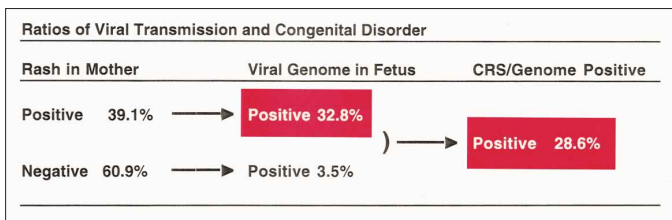


図5 出生前診断依頼症例における胎児由来組織からの風疹ウイルスの遺伝子検出率とCRS発生率(加藤茂孝)

治療・予防

CRSそれ自体の治療法はない。心疾患に関しては、軽度であれば自然治癒することもあるが、手術が可能になった時点で手術する。白内障についても手術可能になった時点で、濁り部分を摘出して視力を回復する。摘出後、人工水晶体を使用することもある。いずれにしても、遠近調節に困難が伴う。難聴については聴覚障害児教育を行う。

予防は、十分高い抗体価を保有することであり、自然感染の機会がなければ、風疹ワクチンで免疫を付けておく。現在、風疹ワクチンは男女の幼児(1-3歳)と男女の中学生(平成15年9月30日まで)に接種されている。この年齢以外でも、希望者には接種可能である。妊娠可能年齢の女性で風疹抗体が無い場合には、積極的にワクチンで免疫を獲得しておくことが望まれる。妊娠中のワクチン接種は避ける。しかし、たとえワクチン接種後妊娠が判明したとしても、過去に蓄積されたデータによれば障害児の出生は1例もないので、妊娠を中断する理由にはならない。極めて稀ではあるが、低い抗体価を保有していながら、再感染によってCRSを発生した例がある。

感染症新法の中での先天性風疹症候群の取扱い

先天性風疹症候群は、第4類の全数届出疾患に定められており、診断した医師は診断から7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りである。施行以来現在まで、1例の発生報告もない。

《 報告のための基準 》

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下の1)と2)の基準を両方とも満たすもの

1)臨床症状による基準

「Aから2項目以上」または「Aから1つと、Bから2つ以上」若しくは「Aの(2)または(3)と、B(1)」

A.(1)先天性白内障、または緑内障

(2)先天性心疾患(動脈管開存、肺動脈狭窄、心室中隔欠損、心房中隔欠損など)

(3)感音性難聴

B.(1)網膜症

(2)骨端発育障害(X線診断によるもの)

(3)低出生児体重

(4)血小板減少性紫斑病(新生児期のもの)

(5)肝脾腫

2)病原体診断等による基準

以下のいずれかの一つを満たし、出生後の風疹感染を除外できるもの

1. 風疹ウイルスの分離陽性、またはウイルス遺伝子の検出

例: RT-PCR法など

2. 血清中に風疹特異的IgM抗体の存在

3. 血清中の風疹HI価が移行抗体の推移から予想される値を高く越えて持続。

(出生児の風疹HI価が、月あたり1/2の低下率で低下していない。)

(国立感染症研究所 ウイルス製剤部 加藤茂孝)



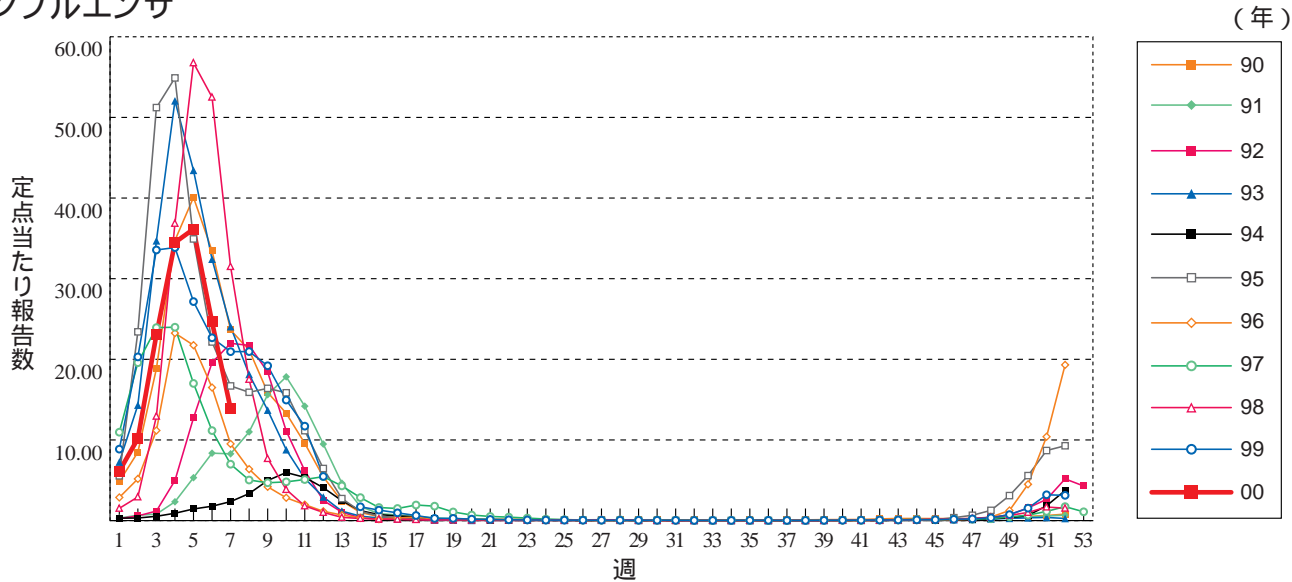
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

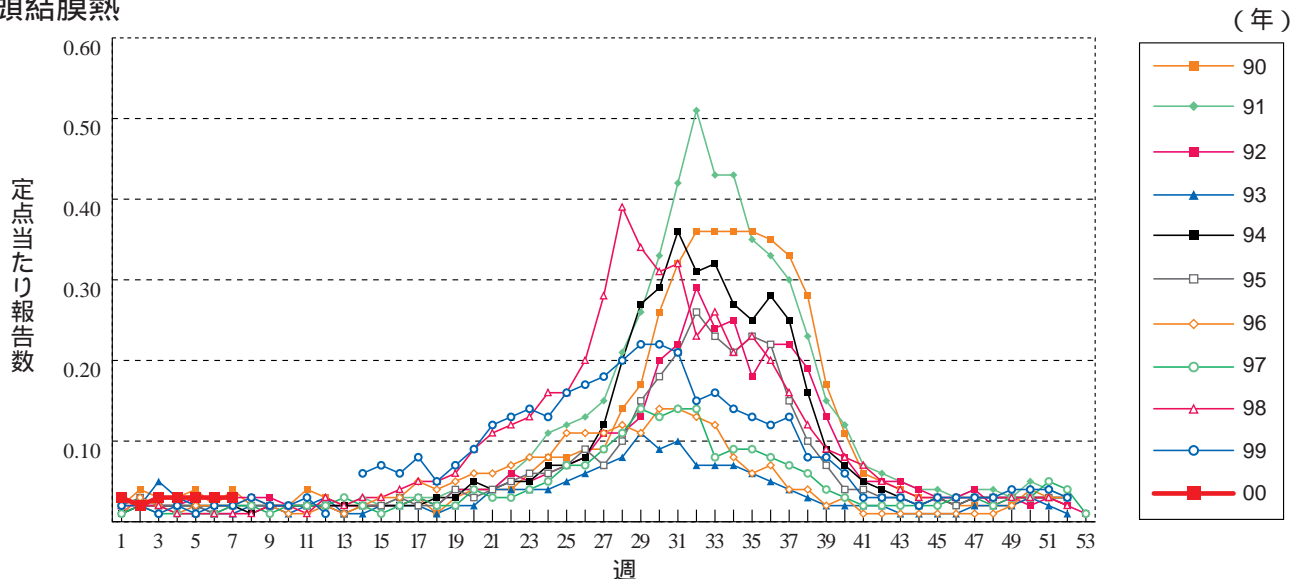
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(7週)

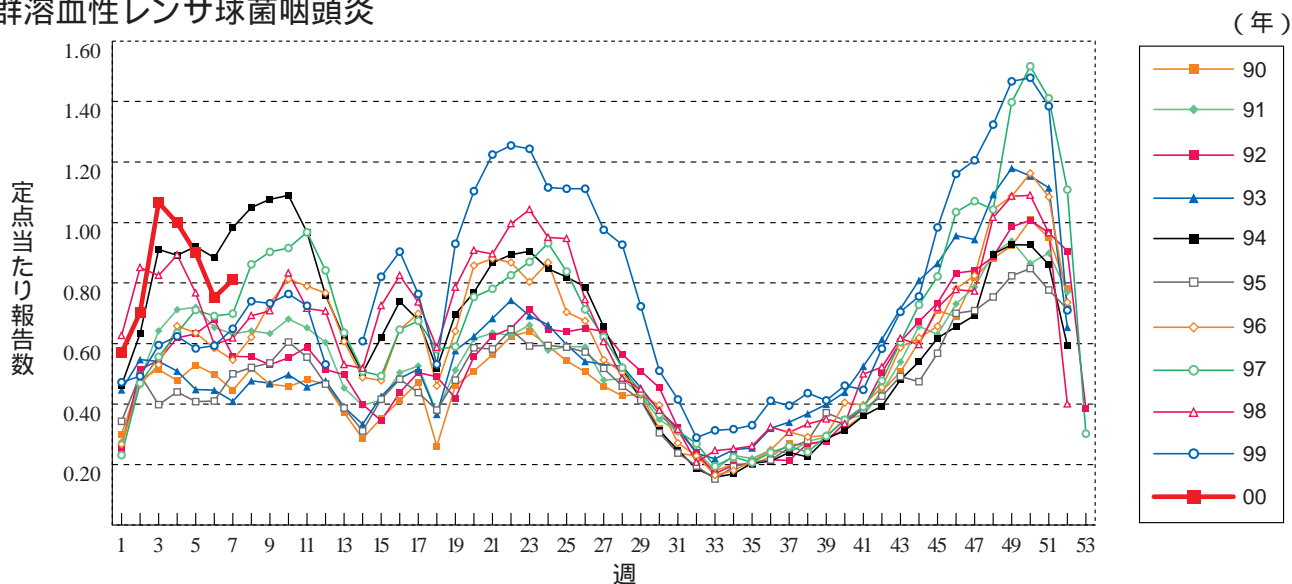
インフルエンザ



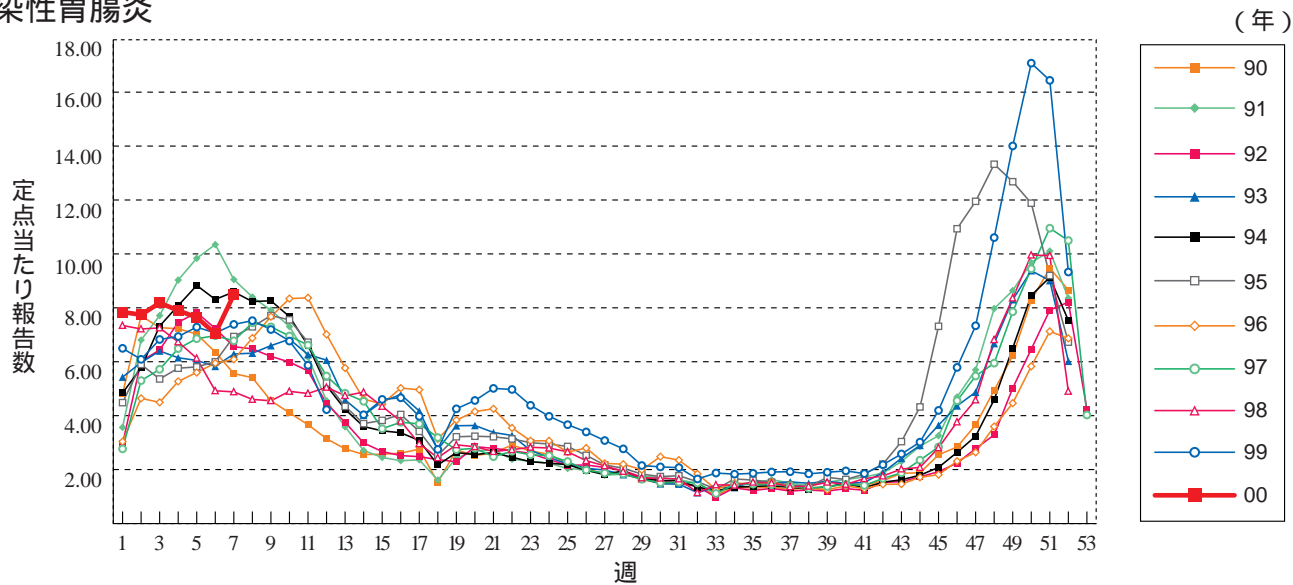
咽頭結膜熱



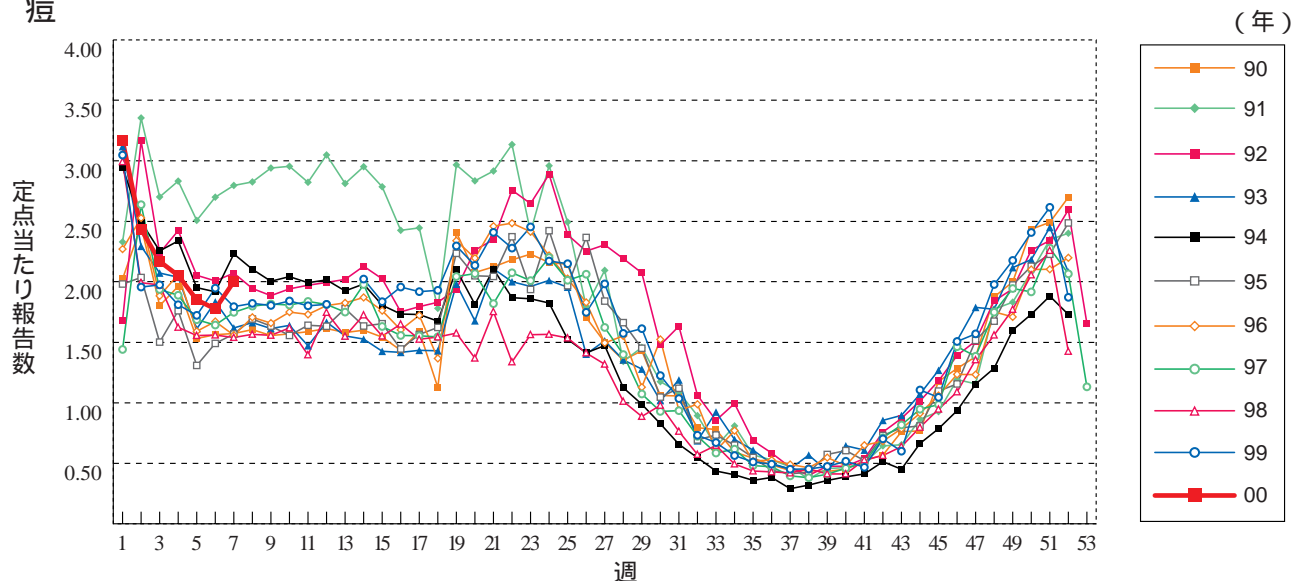
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



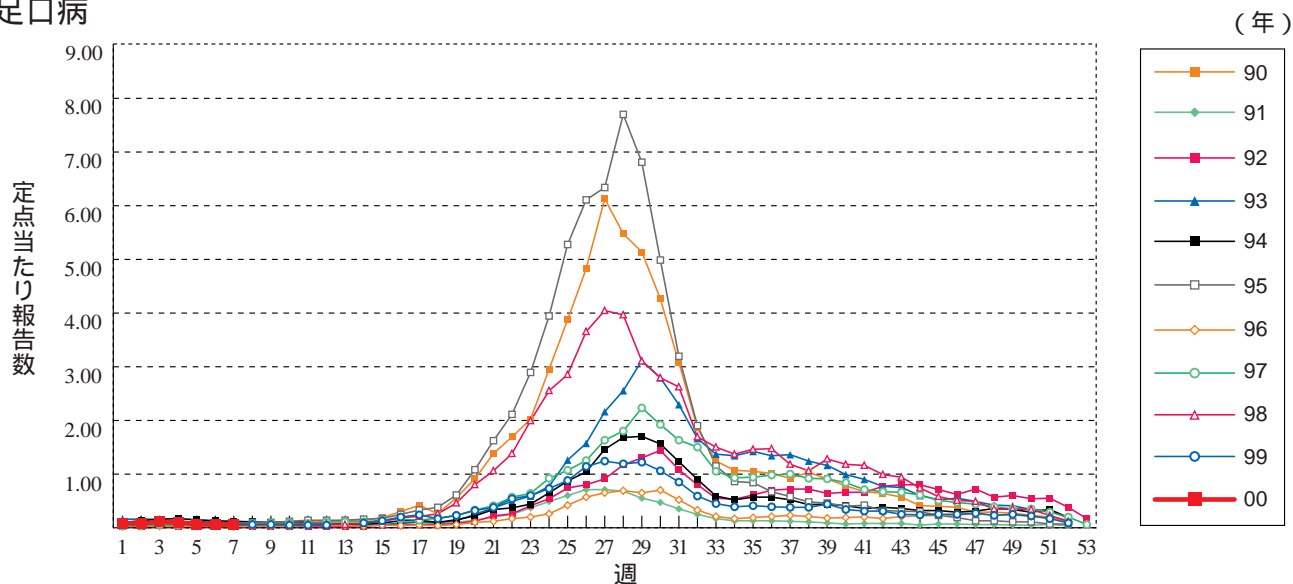
感染性胃腸炎



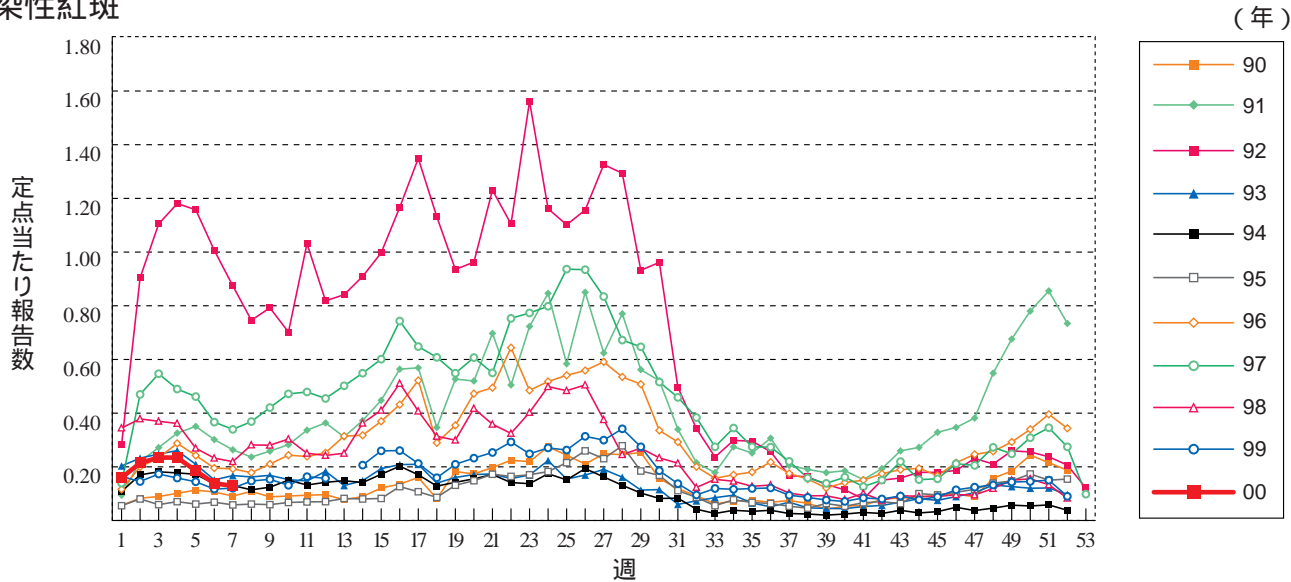
水痘



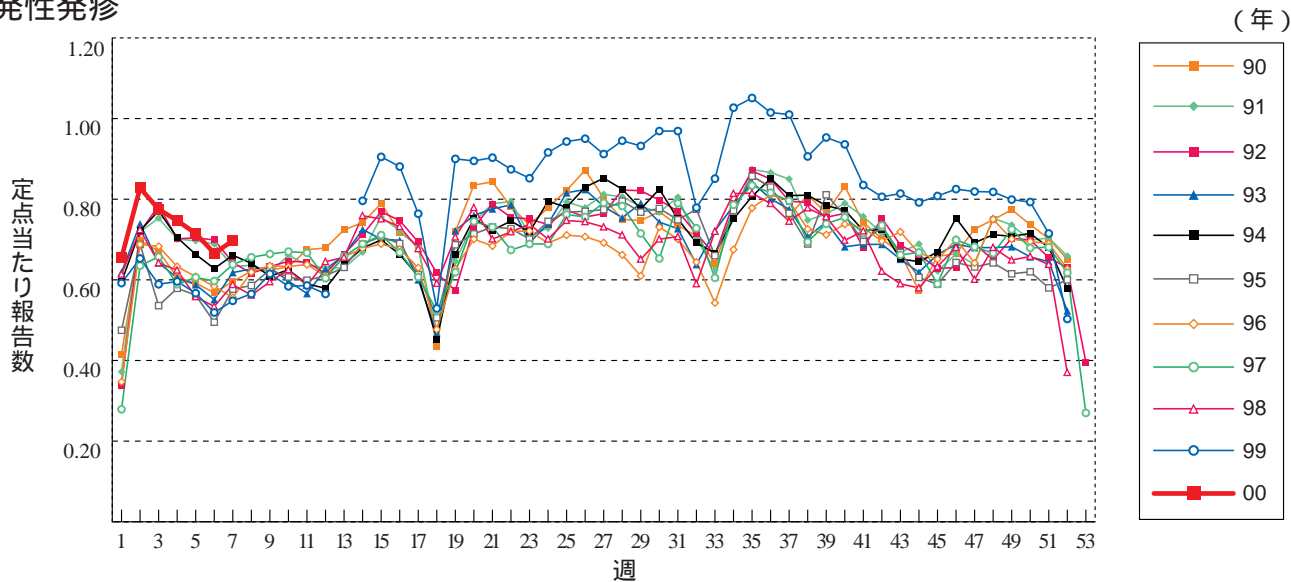
手足口病



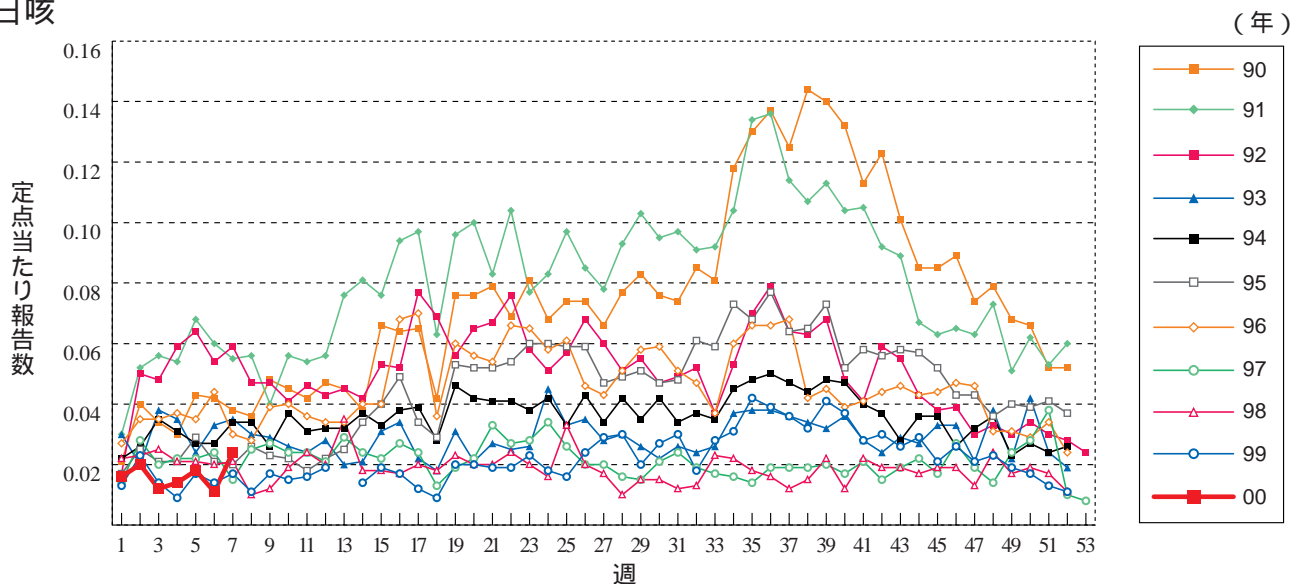
伝染性紅斑



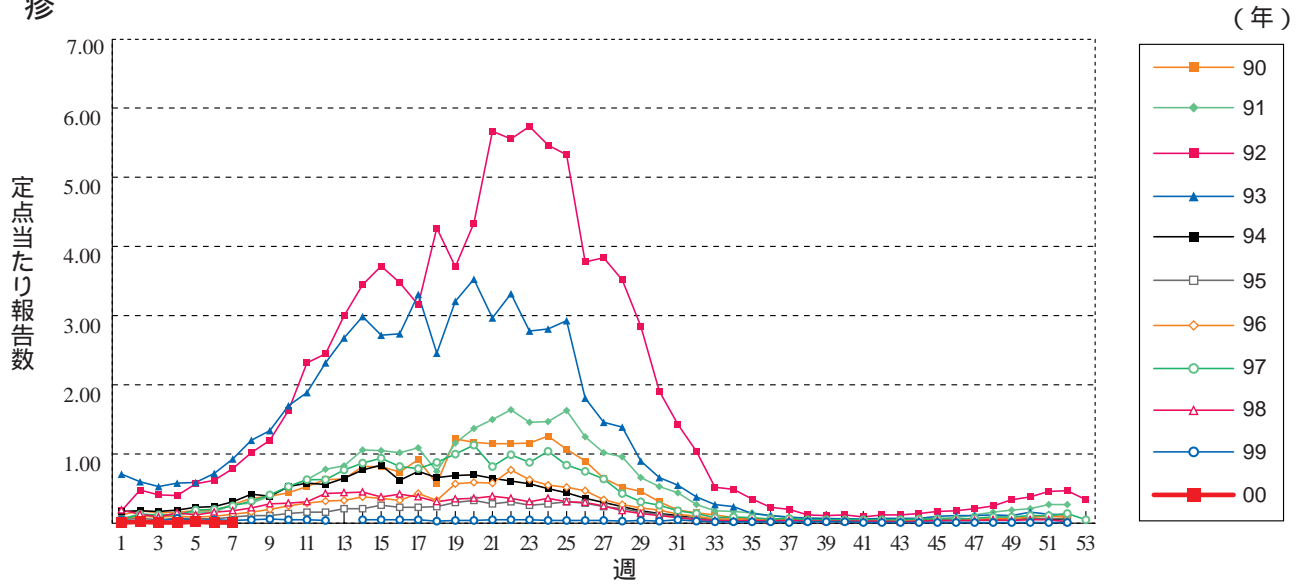
突発性発疹



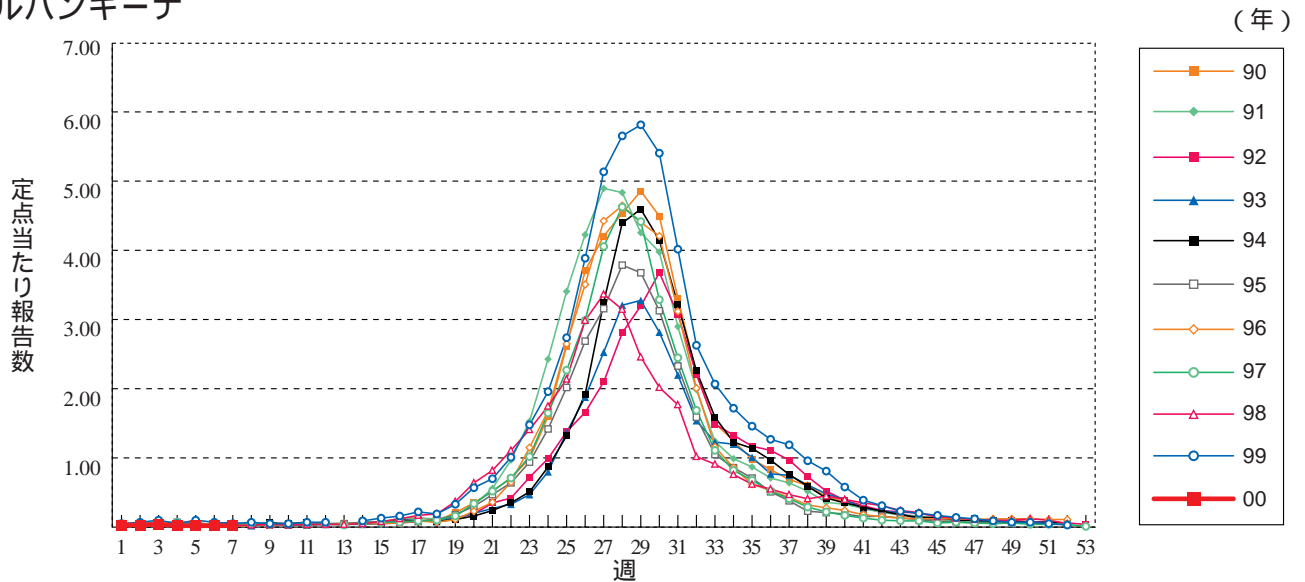
百日咳



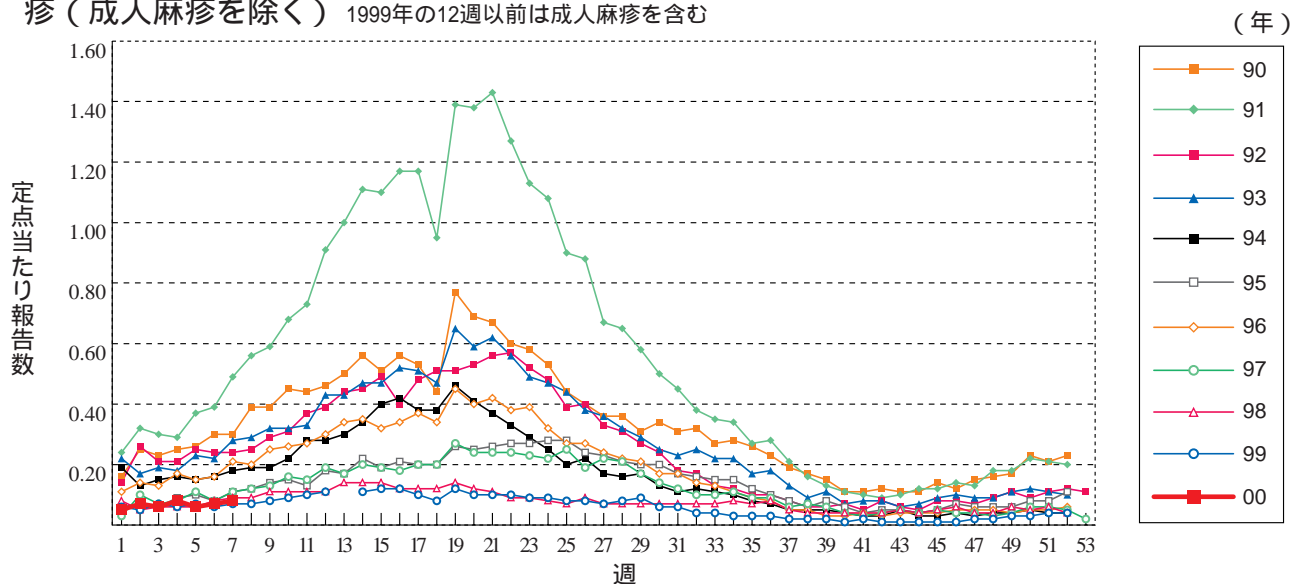
風 疹



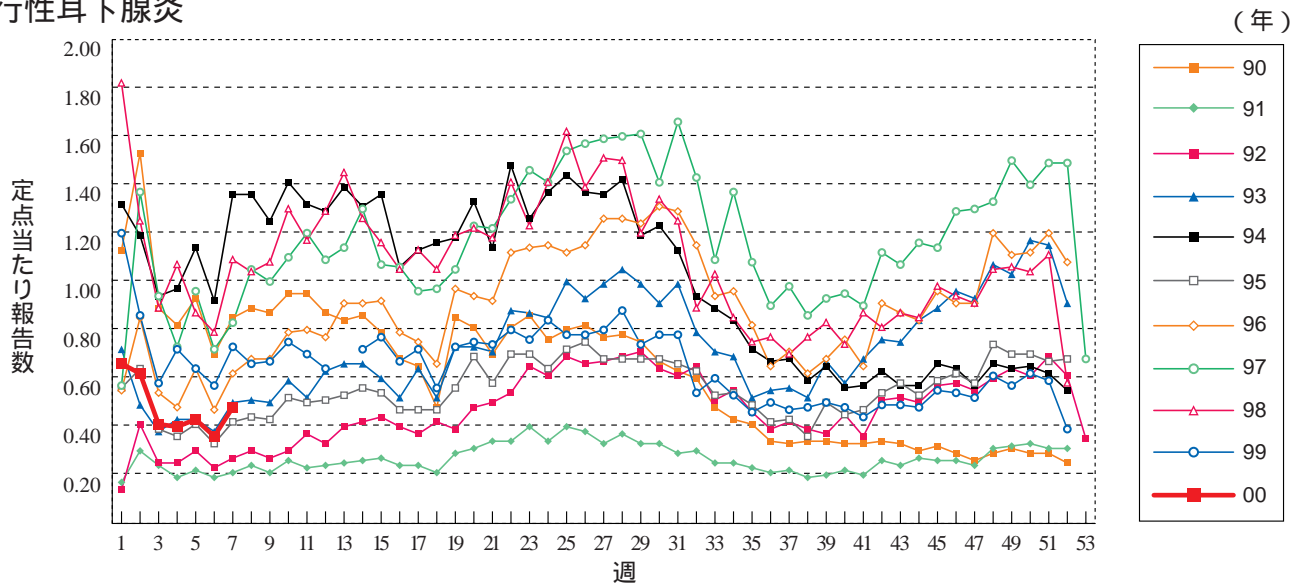
ヘルパンギーナ



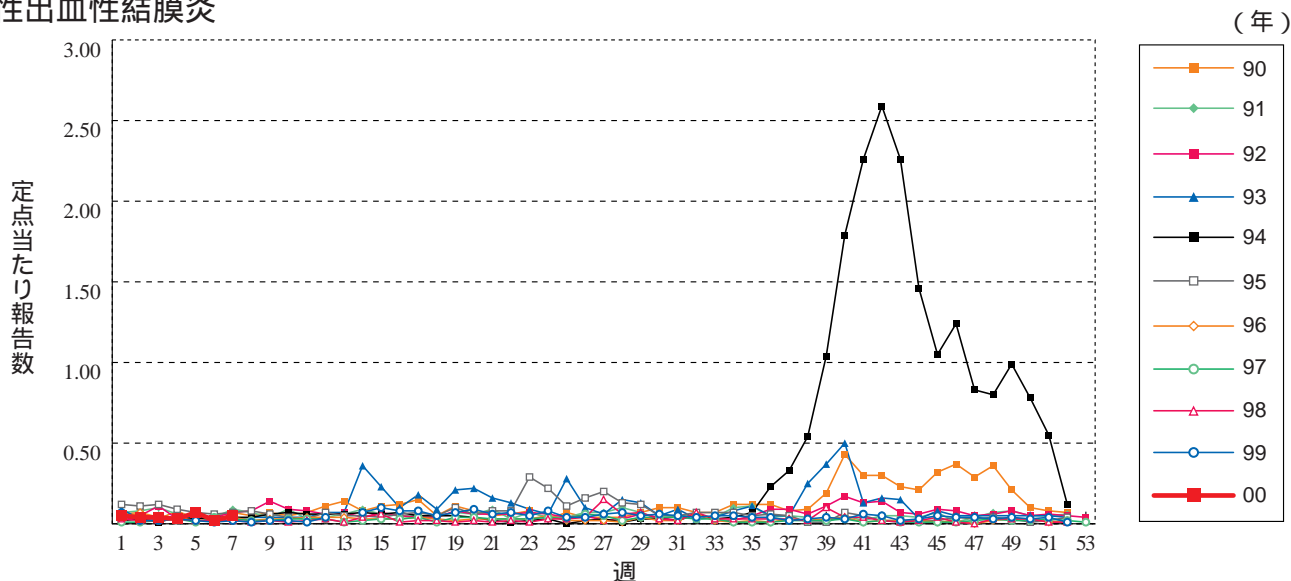
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



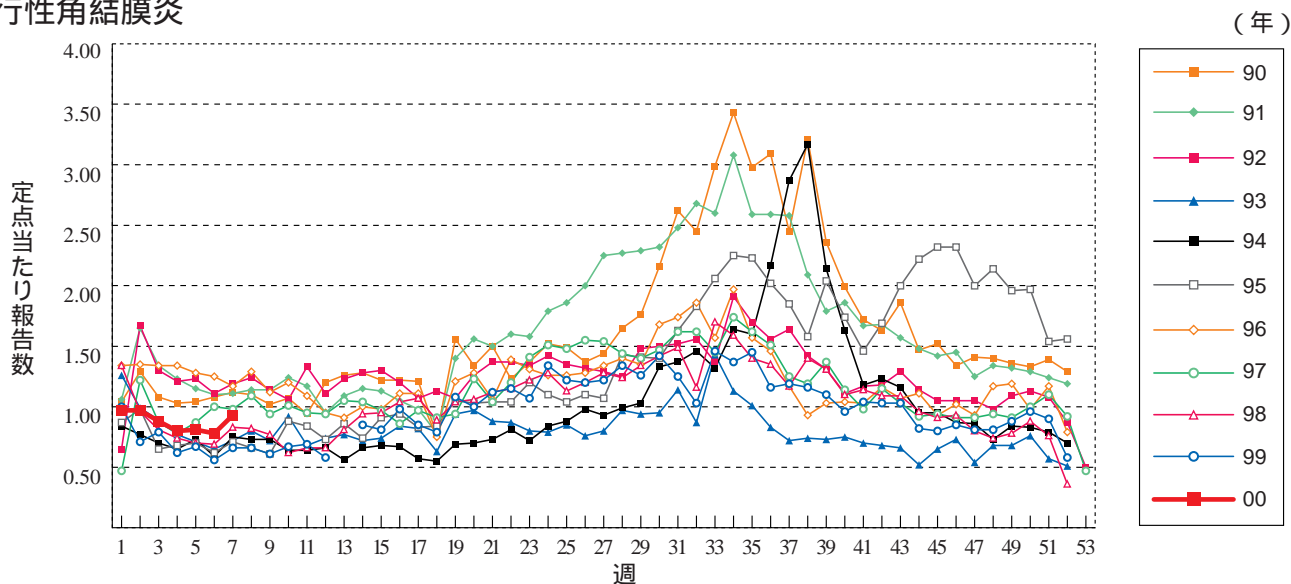
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

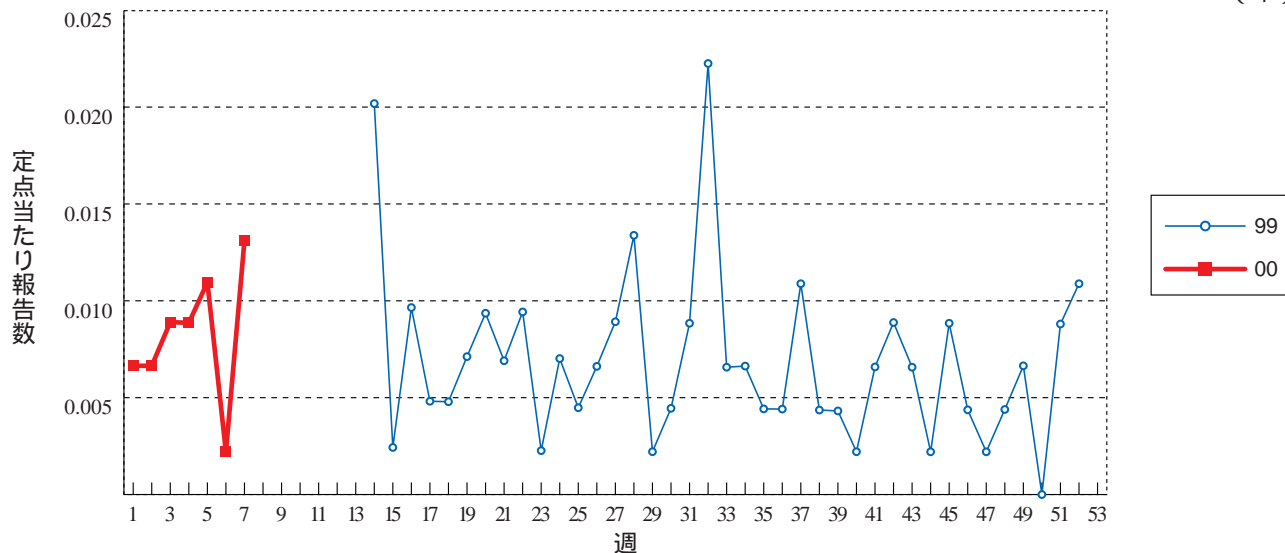


流行性角結膜炎



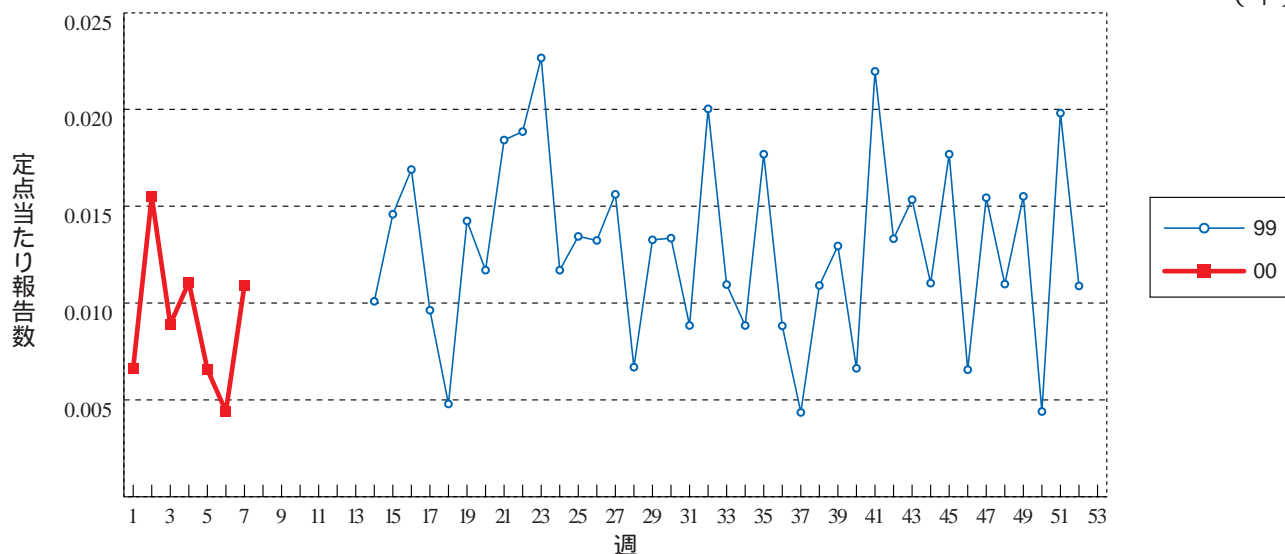
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



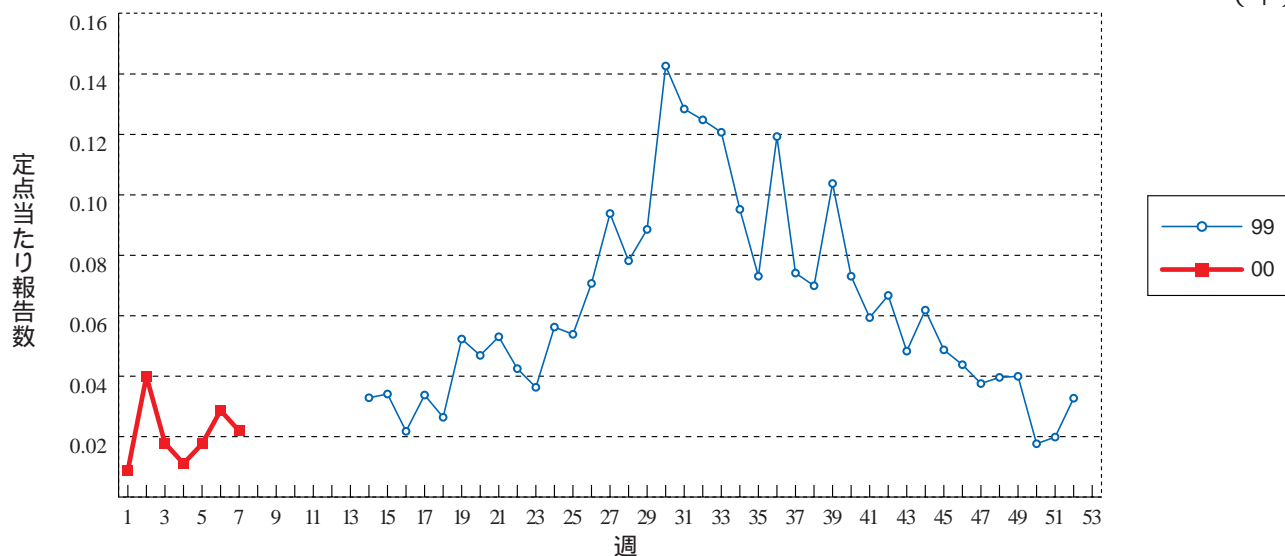
細菌性髄膜炎

(年)



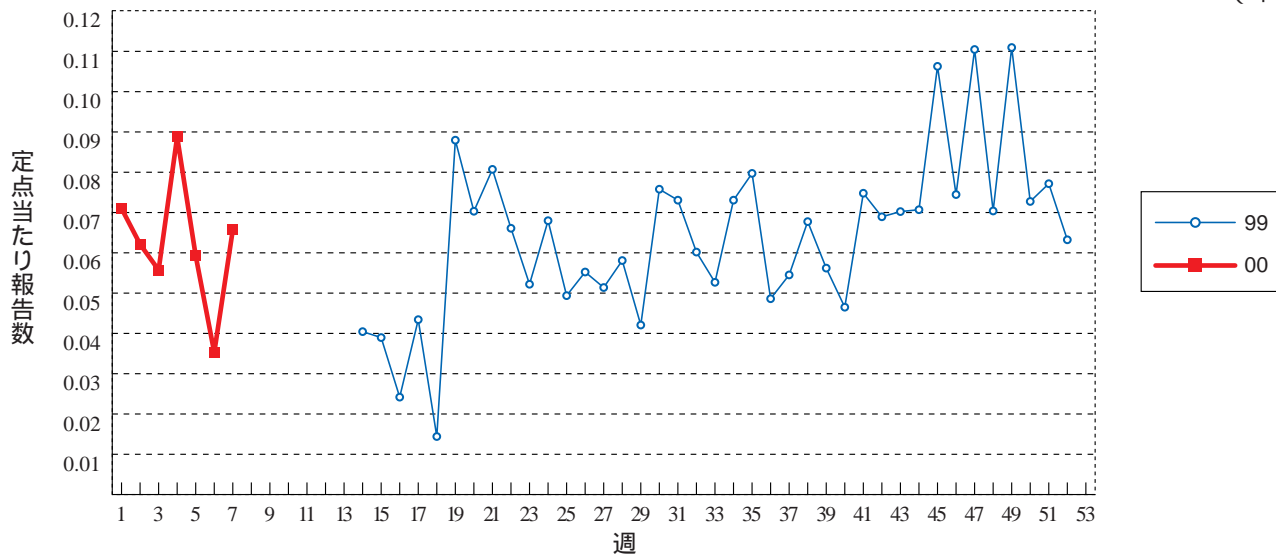
無菌性髄膜炎

(年)



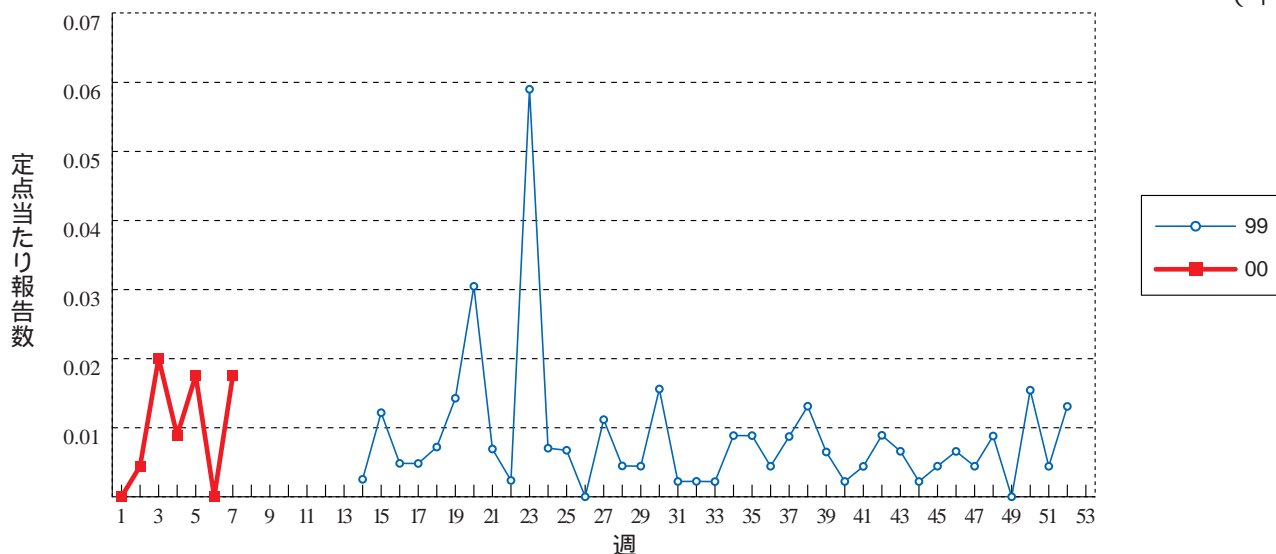
マイコプラズマ肺炎

(年)



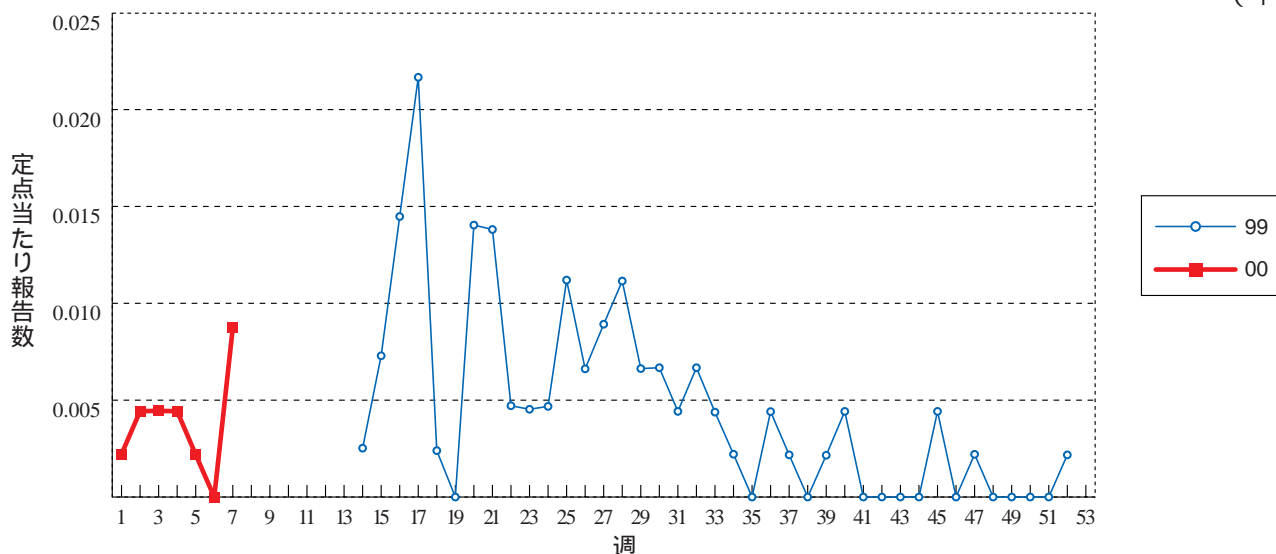
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





7週のデータ

注) 表中の報告数は2月24日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年7週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	12	77	2	5	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	7	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年7週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	14	96	9	40	-	-	-	-	-	2	-	-	10	152
北海道	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	1	7	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18
神奈川県	-	-	-	-	2	4	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	1	6	3	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16
奈良県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	8	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
沖縄県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年7週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	14	-	6	5	62	-	-	1	7	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	1	3	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	2	25	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	3	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年7週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	4	-	-	-	-	2	44	-	-	-	-	-	-	-	-	6	91
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
千葉県	-	2	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16
兵庫県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	1	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年7週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年7週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	62932	13.87	100	0.03	2378	0.81	24978	8.52	5872	2.00	189	0.06	379	0.13	2043	0.70	70	0.02
北海道	5501	24.13	10	0.07	124	0.86	471	3.27	198	1.38	1	0.01	34	0.24	83	0.58	-	-
青森県	1287	20.11	-	-	22	0.54	158	3.85	52	1.27	1	0.02	14	0.34	27	0.66	1	0.02
岩手県	1783	28.76	-	-	24	0.63	188	4.95	66	1.74	-	-	3	0.08	30	0.79	-	-
宮城県	1221	12.59	-	-	70	1.19	1167	19.78	150	2.54	-	-	19	0.32	55	0.93	-	-
秋田県	1264	22.98	2	0.06	53	1.51	376	10.74	69	1.97	3	0.09	1	0.03	24	0.69	1	0.03
山形県	740	15.74	1	0.03	43	1.48	322	11.10	85	2.93	-	-	3	0.10	24	0.83	4	0.14
福島県	1092	13.65	1	0.02	29	0.60	522	10.88	126	2.63	2	0.04	28	0.58	37	0.77	1	0.02
茨城県	812	7.38	-	-	48	0.67	330	4.58	96	1.33	-	-	4	0.06	27	0.38	2	0.03
栃木県	971	14.28	2	0.04	27	0.60	210	4.67	87	1.93	-	-	2	0.04	30	0.67	-	-
群馬県	1318	13.18	-	-	57	0.92	351	5.66	146	2.35	3	0.05	12	0.19	37	0.60	1	0.02
埼玉県	2646	14.87	5	0.04	139	1.24	1058	9.45	246	2.20	6	0.05	15	0.13	108	0.96	4	0.04
千葉県	2750	13.10	1	0.01	180	1.34	1183	8.83	370	2.76	14	0.10	17	0.13	71	0.53	3	0.02
東京都	1447	8.13	2	0.01	38	0.27	898	6.32	171	1.20	4	0.03	8	0.06	57	0.40	-	-
神奈川県	2827	8.46	7	0.03	127	0.62	1724	8.37	306	1.49	13	0.06	32	0.16	194	0.94	5	0.02
新潟県	2020	20.40	-	-	108	1.80	532	8.87	169	2.82	1	0.02	20	0.33	55	0.92	2	0.03
富山県	1457	30.35	-	-	25	0.86	195	6.72	83	2.86	-	-	1	0.03	13	0.45	-	-
石川県	945	19.69	-	-	22	0.76	315	10.86	90	3.10	-	-	4	0.14	20	0.69	-	-
福井県	371	11.59	-	-	27	1.23	345	15.68	53	2.41	-	-	-	-	20	0.91	1	0.05
山梨県	585	14.27	-	-	16	0.64	120	4.80	21	0.84	2	0.08	1	0.04	9	0.36	-	-
長野県	1547	19.10	1	0.02	47	0.90	471	9.06	84	1.62	-	-	29	0.56	45	0.87	-	-
岐阜県	496	7.75	-	-	10	0.24	208	5.07	76	1.85	3	0.07	2	0.05	16	0.39	-	-
静岡県	2200	16.06	4	0.05	70	0.81	1025	11.92	258	3.00	2	0.02	8	0.09	82	0.95	7	0.08
愛知県	1747	9.05	2	0.01	145	0.80	1258	6.91	290	1.59	3	0.02	20	0.11	114	0.63	5	0.03
三重県	936	12.82	-	-	53	1.18	586	13.02	80	1.78	-	-	2	0.04	47	1.04	-	-
滋賀県	266	5.43	1	0.03	17	0.57	130	4.33	40	1.33	2	0.07	1	0.03	11	0.37	-	-
京都府	761	6.04	-	-	54	0.71	531	6.99	76	1.00	-	-	4	0.05	39	0.51	1	0.01
大阪府	1271	4.67	6	0.03	103	0.54	1179	6.24	240	1.27	23	0.12	7	0.04	98	0.52	5	0.03
兵庫県	1813	9.16	3	0.02	77	0.60	1148	8.97	263	2.05	5	0.04	12	0.09	95	0.74	8	0.06
奈良県	409	7.44	-	-	21	0.60	372	10.63	70	2.00	2	0.06	2	0.06	25	0.71	1	0.03
和歌山県	373	7.31	1	0.03	14	0.44	208	6.50	51	1.59	-	-	3	0.09	24	0.75	-	-
鳥取県	410	14.14	9	0.47	78	4.11	269	14.16	47	2.47	-	-	1	0.05	19	1.00	1	0.05
島根県	669	17.61	5	0.22	23	1.00	176	7.65	51	2.22	-	-	2	0.09	16	0.70	1	0.04
岡山県	986	12.02	-	-	27	0.50	383	7.09	112	2.07	1	0.02	9	0.17	20	0.37	-	-
広島県	1242	10.44	11	0.15	50	0.67	771	10.28	103	1.37	1	0.01	3	0.04	51	0.68	3	0.04
山口県	1466	20.94	1	0.02	51	1.04	714	14.57	103	2.10	-	-	4	0.08	35	0.71	-	-
徳島県	664	17.47	-	-	8	0.35	244	10.61	47	2.04	-	-	2	0.09	15	0.65	2	0.09
香川県	528	10.35	3	0.09	14	0.44	261	8.16	70	2.19	1	0.03	1	0.03	22	0.69	1	0.03
愛媛県	1405	21.95	4	0.10	25	0.64	461	11.82	87	2.23	7	0.18	1	0.03	35	0.90	-	-
高知県	891	18.18	-	-	21	0.68	159	5.13	59	1.90	-	-	3	0.10	16	0.52	-	-
福岡県	2658	17.04	2	0.03	87	1.12	1192	15.28	219	2.81	21	0.27	16	0.21	62	0.79	-	-
佐賀県	770	19.74	-	-	15	0.65	282	12.26	88	3.83	4	0.17	3	0.13	29	1.26	-	-
長崎県	1338	19.11	-	-	7	0.16	291	6.61	77	1.75	1	0.02	-	-	26	0.59	-	-
熊本県	1465	18.09	5	0.10	18	0.37	454	9.27	144	2.94	34	0.69	7	0.14	51	1.04	2	0.04
大分県	1757	30.29	1	0.03	45	1.25	442	12.28	103	2.86	7	0.19	8	0.22	26	0.72	4	0.11
宮崎県	1612	26.87	3	0.08	62	1.68	666	18.00	140	3.78	1	0.03	4	0.11	40	1.08	1	0.03
鹿児島県	1747	18.01	7	0.12	48	0.81	601	10.19	154	2.61	8	0.14	4	0.07	45	0.76	-	-
沖縄県	468	8.07	-	-	9	0.26	31	0.91	156	4.59	13	0.38	3	0.09	18	0.53	3	0.09

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年7週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	34	0.01	65	0.02	249	0.08	1400	0.48	29	0.05	574	0.93	6	0.01	5	0.01	10	0.02
北海道	-	-	-	-	6	0.04	73	0.51	1	0.03	15	0.52	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	1	0.02	25	0.61	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	8	0.21	18	0.47	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	3	0.05	9	0.15	4	0.36	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	20	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	7	0.24	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.11
福島県	-	-	-	-	16	0.33	11	0.23	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	26	0.36	15	0.21	1	0.06	25	1.56	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	2	0.04	3	0.07	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	72	1.16	-	-	29	2.07	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	2	0.02	8	0.07	-	-	64	0.57	-	-	23	0.88	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	3	0.02	2	0.01	31	0.23	77	0.57	4	0.11	28	0.80	1	0.08	1	0.08	-	-
東京都	1	0.01	3	0.02	5	0.04	49	0.35	-	-	24	1.71	-	-	-	-	-	-
神奈川県	3	0.01	5	0.02	18	0.09	91	0.44	1	0.02	52	1.24	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	-	-	3	0.05	-	-	20	0.33	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	4	0.14	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.20
石川県	1	0.03	-	-	3	0.10	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.09	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	43	0.83	-	-	16	1.60	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	1	0.02	-	-	3	0.07	21	0.51	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	1	0.01	2	0.02	92	1.07	-	-	13	0.65	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	1	0.01	2	0.01	53	0.29	1	0.03	29	0.83	-	-	-	-	-	-
三重県	3	0.07	-	-	-	-	30	0.67	-	-	10	0.83	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.07	-	-	10	0.33	7	0.23	-	-	2	0.29	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	0.01	24	0.32	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	5	0.03	61	0.32	66	0.35	1	0.02	25	0.48	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.02	-	-	20	0.16	88	0.69	5	0.14	28	0.80	-	-	2	0.14	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	26	0.74	-	-	11	1.22	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	-	-	4	0.13	9	0.28	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	10	0.53	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.04	1	0.04	-	-	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.04	2	0.04	14	0.26	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	6	0.08	1	0.01	58	0.77	1	0.05	26	1.30	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	0.02	-	-	77	1.57	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	2	0.06	17	0.53	17	0.53	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	1	0.03	-	-	10	0.26	1	0.14	6	0.86	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	22	0.71	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	1	0.01	-	-	41	0.53	1	0.06	17	0.94	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	1	0.04	9	0.39	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	8	0.18	4	0.50	16	2.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	5	0.10	-	-	43	0.88	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	8	0.22	2	0.06	7	0.19	-	-	18	3.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	0.08	-	-	29	0.78	-	-	7	1.75	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.02	-	-	3	0.05	15	0.25	-	-	11	1.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	-	-	1	0.03	2	0.20	9	0.90	1	0.14	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年7週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	30	0.07	8	0.02	4	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	3	0.25	5	0.42	-	-
秋田県	3	0.50	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	0.17
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	-	-	2	0.15
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	1	0.14	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	10	0.48	-	-	-	-
山口県	-	-	2	0.22	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第7号 平成12年3月3日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhw.go.jp/
<厚生省>
http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/
<成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。